

令和2年度版 改善計画

学校名：富士見支援学校旭分校

No.	項目	現状と課題	R3年度に目指すべき状態	①R2年度に実施する内容 ②R3年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	定時退校日については定着しているが、病院との会議、研修会が勤務時間外になることがある。	提案事項の精選と事前調整、また、web会議システムの運用により会議の効率化が図られた状態。	①会議前に協議内容の事前説明や共通理解を図り、短時間で効率的に実施する。また、web会議システムを導入し、効率化の検討を行う。 ②会議・研修会で「MSTeams」などのweb会議システムを効率的に活用する。	
2	学校行事の負担軽減	児童生徒一人ひとりの年齢や在籍期間、時期などが異なり、人数の変動があるため精選が難しい。	学校行事の見直しにより職員の負担が軽減された状態。	①行事の目的や教育的効果から、行事の実施内容を引き続き検討する。 ②目的を踏まえた実施内容の工夫や検討を継続する。	
3	校内組織の見直し	小規模校なので、人員配置が少ないため限界がある。	校内組織（指導体制）について整理された状態。	①小学部と中学部を統合し、指導体制の効率化の検討を行う。 ②一学部での効率的運用を検証する。	
4	業務の効率化	小規模であるため、一人あたりの業務が多岐にわたるため、精神面からも加重負担にならないような工夫が必要である。	各業務が整理され、年休取得が促進され、目標が達成された状態。	①分掌の業務マニュアルを作成し、効率的な移行ができるようにする。 ②配布物の電子化を検討する。	
5	部活動の負担軽減	実施なし	なし	なし	
6	地域人材の活用	年3回の「いきいき教育地域人材活用推進事業」を有効活用している。	様々な分野で活躍している人材を活用できている状態。	①教職員、ボランティア等の活用の推進を継続する。 ②現状の継続を検討する。	

※達成状況：次のA～Dで評価し、各年度末に県立学校は県教育委員会へ、公立小中学校は市町村（組合）教育委員会へ提出する。

A 達成できた B ある程度は達成できた C あまり達成できなかった D 達成できなかった

※様式は、必要な項目が含まれていれば、適宜、変更して使用して差し支えないこと。